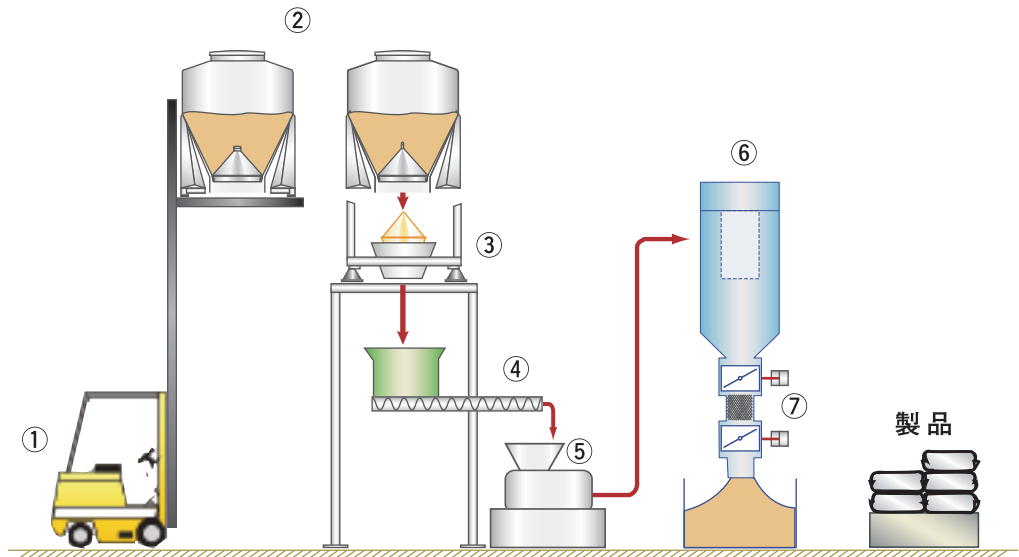
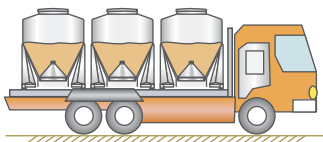


マトコン・気流式粉砕機による大量処理



(原料)



- | | |
|----------------|-----------------|
| ① フォークリフト | ⑤ ジェット粉砕機 CJ-75 |
| ② マトコンIBCコンテナ | ⑥ バグフィルター |
| ③ マトコン排出ステーション | ⑦ ダブルダンパー |
| ④ スクリューフィーダー | |

■ 対粉粒体

食品、薬品、ファインセラミックス素材、電子材料

■ 基盤技術

粉砕／空気輸送／貯蔵／排出

■ 概要

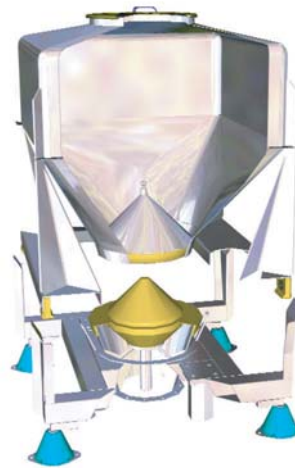
原料はマトコン IBC コンテナ②に小ロットごと、もしくは種類ごとに貯蔵され、トラックにて搬送されてきます。フォーク①によりコンテナを排出ステーション③へ設置し、原料の全量排出を行います。

スクリューフィーダー④により定量的に供給された原料は、ジェット粉砕機⑤で粉砕をしたのち、バグフィルター⑥に送られます。

その後ダブルダンパー⑦を通った原料は製品として出荷されます。

■ 特長

- (1) マトコン IBC システムを用いることで、小容量・多品種の原料を効率が良く扱うことができます。また、排出時の発塵も無く、マスフローが可能であり、ある程度の定量排出を実現できます。
- (2) ジェット粉砕機は圧縮空気のみで粉砕を行うため、発熱が無く、クリーンな粉砕を行うことが可能です。



マトコンIBCシステム



カレントジェット